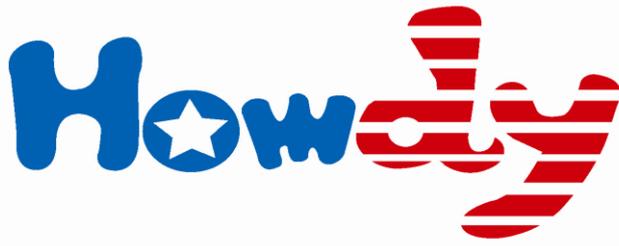


発行 秦野パサデナ友好協会
 事務局 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
 (秦野市くらし安心部市民自治振興課内)
 TEL 0463(82)5118 FAX 0463(82)6793
 E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp
 発行日 2016年 3月 31日



平成の改革は順調に進む

一人一人が持ち味を発揮、活性化

姉妹都市提携50周年記念事業が終わり、新たな50年に向けて、当協会は組織の再編に取り組みました。そこで、望月会長に意図や成果などを聞きました。

Q1 なぜ、3部協業システムにしたのですか。

新たな一步を踏み出すために、会員一人一人の特性や持ち味を発揮する組織に再編すれば、組織の再生・刷新（innovation）が図れると思ひ、役員が中心となって、会則の考え方や内容を照らし合わせ編成されました。いわば、役員と会員の創意とアイデアの結集で生まれた組織です。

Q2 現状をどう感じていますか。

部長を中心に部員同士、部と事務局、3役と部長の横と縦の連携を取り合いながら、各部の仕事は着実に進んでいると思います。まだスタートしたばかりですので、課題点はありますが、今後話し合っ、より良い方向を模索していきます。

Q3 成果と課題はいかがですか。

私は各部の会議に出席していますが、いい雰囲気、それぞれが持ち味を発揮され、やる気や活気を実感しています。役員は全員一人一役、会員は希望制でどれかの部に所属できるようになっていますが、多くの人が希望してくれることを望んでいます。

荒川教育部長

この一年間の主な活動は、
 ①9月20日の「中学生スピーチコンテスト」と11月7日の「インターナショナルフェスティバル」への参加・協力
 ②10月23日～24日の「スカイプキャンプ」の企画・実施
 ③姉妹校作品交流の作品募集および発送の三つです。

特に今年度は「スカイプキャンプ」が企画・運営・実施という部の中心活動となり、子どもたちの取り組みから渋沢中学校とトンプソン中学校の姉妹校同士での“face to face”の交流が行われ、今後も継続・発展できる活動となりました。

【各部長報告】

小島研修部長

図らずも研修部の部長なる役を引き受けてしまいました。船に例えるなら船長職でしょう。航路や船の性能がわからない中での船出でした。幸い仲間の乗組員の助けを受けながらなんとか漂流もせず、座礁もせずに済みそうです。

担当業務の交流フォーラムや会員親睦事業の視察研修が本来の目的に合致し、真に会員の、会員による、会員のための事業として実現できたかどうか自問自答しています。

砂子普及部長

3部制になり、普及部としては、部会議5回、Howdy12号と13号の編集・発行、市民の日のバザー出店を行いました。結果、部としてやるべき目標と内容が明確になり、部員の積極的な意見や行動・アイデアが多くなり、より組織が活性化したと感じます。また、年次計画の全体像が明確になることで、時間的にも物理的にも余裕が出てきました。3部制にした効果は大きいと思います。現在、部員は6名です。皆さまのご参加をお待ちしております。